

関東支部 事業化支援プロジェクトマネージャー 青木 秀夫

【ポイント】～電解活用のスケール（泥状物質）除去装置で企業成長をめざす～

電気分解技術は歴史が長く、応用製品・機器・装置等々多岐に活用されている。当社も平成15年創業以来、独自開発で特許取得を前提に製品開発を行い、工業分野・医療機器・鉱山分野・飲料/酒類分野等の装置を手掛けている。その間、創造法（平成15年）・経営革新法（平成16年）を取得し、平成18年にOEMの特注装置で光が見えたが、スポット受注で終わった。スケール除去装置「エレクトロライフ」を企業成長の中心軸に設定し、特化した事業展開を行っている。第1事業基盤の更なる進展をめざし、新事業拠点「テクノフロンティア浜松」に移転した。独自電気分解技術が高い評価を受け、平成21年度の静岡県ニュービジネス大賞を受賞した。

企業概要

- ▶ **企業名**：イノベティブ・デザイン & テクノロジー株式会社
- ▶ **業種**：電解装置の設計・製造・販売
- ▶ **本社所在地**：浜松市北区新都田1-4-10-7号
- ▶ **資本金**：66百万円
- ▶ **設立**：平成15年11月
- ▶ **売上高**：80百万円（平成21年3月）
- ▶ **従業員数**：6名



代表取締役 田中 博社長

田中社長は、ヤマハ出身で転職先のARV(株)で電気分解（電解）の研究に長年携わってきた。現在の幹部メンバーと共に電解技術をコアに平成15年、(有)ソリューション技術研究所(平成17年イノベティブD&T)を立ち上げた。飲料水生成装置(飲料分野)の開発を皮切りに、鉱山分野の抽出水生成装置、医療分野の電解殺菌洗浄装置、「掬破り」という電解活用のユニークお酒(焼酎)も上市している。田中社長の経営方針は、特許の取得ができる独自の製品開発であった。すでに出願中を含めて12案件あり、平成20年に「エレクトロライフ」のコアとなるPCT特許も米国で取得しており、中国にも出願している。

平成17年から自社技術を活かしたOEM製品に特化した事業展開を行ったが、特注品案件が継続できず、売上高が半減した（平成19年3月期）。平成18年に、実用化研究助成金を得て、独自のスケール除去技術を確立し、翌年、事業化助成金も取得でき、自社製品開発のスケール除去装置に事業の軸足を移した。



スケール除去装置「エレクトロライフ」

「エレクトロライフ」での第1事業基盤構築と共に、大手企業等のニーズが高い、大型プラント用の大型装置や次期戦略製品開発が進んでいる。

支援課題の設定とプロジェクトマネージャーの視点



青木秀夫
事業化支援プロジェクトマネージャー

支援テーマは、スケール除去装置の事業化による事業基盤の再構築である。ハンズオン支援

は、平成18年実用化研究助成金から継続している。配管等のスケール除去は恒久的な課題（Ca/Mg）であり、薬剤処理が汎用的であるが、環境問題もあり、配管等の腐食問題もある。防錆・殺菌・シリカ除去を兼ね備えた新方式で、基礎データの結果も良く、事業化助成金も活用して最終製品が完成された（平成20年春）。その間、田中社長以下と事業化へ向けた議論を繰り返した。知名度が低く、人的経営資源の少ない研究開発型ベンチャーの顧客開拓は、顧客見込先で如何にして実機テストに繋がられるかである。信頼性データの充実（技術資料）とエリアマーケティング戦略（地元地域に絞込み）が、顧客獲得・伸長の鍵と判断した。田中社長立案の「無料配管事前診断サービス」が決め手となった。

支援内容と支援成果

支援内容は、情報提供・定期的戦略会議・窓口相談に始まり、専門家派遣（事業計画等の事業戦略および資金戦略）、資金調達（ベンチャープラザ）、平成21年11月にテクノフロンティア浜松への誘致・入居等である。リーマンショックの影響をまともに受けたが、平成21年3月期で売上高80百万円を確保し、V字回復ができた。今期は、売上高150百万円を目標

にしており、営業・メンテナンス要員等の確保ができる段階になり、大手企業からのニーズも多くなってきている。来期売上高3億円も視野に入ってきており、紆余曲折した感があったが、「エレクトロライフ」での第1事業基盤の更なる構築と共に、独自の電解技術を活かした高付加価値オリジナル製品開発を目指している。



新事業拠点「テクノフロンティア浜松」

経営者のことば

企業には、その時々で色々な問題や課題が生じる事は言うまでもありません。弊社ではこうした問題や課題を乗り越える為に、中小機構の各種の支援を受けて参りました。私が特に有意義だと感じましたのは、弊社の現状にあった支援を青木PMと相談させて頂きながら、その時々で最良の支援を受けることが出来た事です。今後も、タイムリーな支援を受けさせて頂きたいと思っております。

売上高推移(製品売上のみ 単位：百万円)

